

ヒストリカル(歴史的)マンドリンのレクチャーコンサート

イタリアの ご当地マンドリンの世界

「ヒストリカル(歴史的)マンドリン」またの名を「ご当地マンドリン mandolino regionale」とは？
かつてイタリア各地に様々な姿形のマンドリンがありました。それらは地名を用いて、ナポリ式、ミラノ式、ブレーシャ式、クレモナ式、ジェノヴァ式、フィレンツェ式、ローマ式、ヴェネツィア式、ブリアンツァ式、ロンバルディア式、トスカーナ式、シチリア式、などと呼ば分けられました。魅力あふれる多種多様な「ご当地マンドリン」の世界を実演とお話で紹介します。(※実演は代表的な形式のみ)

マンドリン 西山 みき



イタリアにて、国立チェーザレ・ボッリーニ音楽院(パドヴァ市)マンドリン科、国立ルカ・マレンツィオ音楽院(ブレーシャ市)ピアノ科、同音楽院チェンバロ科をそれぞれ卒業。マンドリンをU. オルランディ氏に師事。

マンドリニストとしてのレパートリーは古楽から現代曲まで幅広い。ミラノ・シネマテーク財団とのコラボレーションや国営ラジオRai Radio 2出演など活動範囲はイタリア各地におよび、国営テレビRaiにも取り上げられた。

現在は、ギタリストあるいはピアニストとのデュオや管弦楽団との室内楽など様々な形でのコンサート活動をイタリア全土で行いつつ、後進の指導にも力を注いでいる。

チェンバロ 佐藤 麻衣子



国立音楽大学音楽教育科、東京藝術大学古楽科卒業。2009年4月から2012年3月まで東京藝術大学古楽科教育研究助手を務める。チェンバロを鈴木雅明、ニコラス・パール、家喜美子、辰巳美奈子の各氏に師事。

現在、聖学院大学聖歌隊において指揮・音楽指導をするほか、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」やヘンデル「メサイア」などバロック期の宗教曲作品及び室内楽作品を中心に通奏低音奏者として演奏に参加、聖学院メサイア合唱団伴奏者として活動している。

おはなし 根岸 広輝

イタリア・ミラノ市立弦楽器製作学校(撥弦楽器専攻)卒業。製作をL.リッピ、T.リッツィ、修復をG.ネグリ、F.ガブリエッリの各氏に師事。ミラノ市立音楽学校(日本における通称：ミラノ市立音楽院)マンドリン科でM.L.カブッチ氏に師事するも滞在許可証が更新できず中退。

2025年

7月27日(日曜日)

開場 13:30 / 開演 14:00

【入場料】(全席自由/予約・当日 同一料金)

中高生: ワンコイン500円 / 大学生・大学院生: 1,500円
一般: 3,000円

【前売券・お問い合わせ】

マンドリン・クラシックギター専門店
イケガク

03-5952-1391 / <https://ikegaku.co.jp/>

イケガク
Website



松明堂音楽ホール

埼玉県 所沢市 松葉町 17-5
松本マンション 地下

●西武新宿線「新所沢」駅
東口より徒歩約3分



= ホールからのお願い =

会場に駐車場・駐輪場はありません。
公共交通機関をご利用ください。

